

間として誠実であるということ。チャペルに全員を集められたのもそのためでしょう。

お仕事の合間をぬって教え子の仲人をされたり、どんなに忙しくともコンパに顔だけは出されたりと、まるで心配症の親父さんのよう。先生の背中で学ばせていただいたことが数多くあります。関西学院大学の理学部が全国でも屈指と評されるとしたら、それはこのような先生のお人柄が大きく反映しているからだと思います。

今、私の研究室には富家先生のお遺影を飾らせていただいております。もしそれが仁田先生のお遺影だとしたら、先生はこうお叱りのことでしょうか。「君に学問の道に進むきっかけを作ったのは私ではなく富家君じゃないのかね」と。そう、それこそが関西学院大学理学部に脈々と息づく仁田イズムです。（談）

[1]光彩(1994)4号、31-32

[2]週刊朝日(1994)1/7・14合併号、201-203



## 大型放射光施設計画推進共同チームの動き 95-10

SPring-8 共同チーム

利用系 植木 龍夫

10月からSPring-8共同チームの体制がかなり大幅に変更されました。また、前回平成7年度の補正予算によって共同利用ビームラインの建設を含む施設の建設が前倒しになったことを報告しましたが、今月の第二次補正予算でいくつかの重要な施設計画が推進できることとなりました。9月から10月にかけて利用系グループの内で挿入光源および基幹チャンネルを担当する研究者を中心に十数名が東海および和光から播磨サイトに移動しました。

### 1. SPring-8 共同チームの体制

平成7年9月14日のSPring-8運営会議（原研と理研の副理事長の下に組織されている会議）において共同チームの体制整備がなされた。旧体制はリーダーの下に4グループが編成されていたが、事務に関連する部分が整理されて研究開発グループと企画・管理グループをそれぞれ大野氏および坂田氏が率いることとなった（図1参照）。研究開発グループの下に加速器系グループと利用系グループがある。SPring-8利用者と直接接触することが多い利用系グループは植木と瀬崎が担当し、ビームライン建設グループ（北村、石川担当）と利用推進グループ（植木、瀬崎担当）がビームライン建設などの推進に当たることになった。JASRI（高輝度光科学研究センター）の対応する部門も図に示した。10月1日現在の構成員は、共同チームが200名（原研83名、理研117名）およびJASRIが71名で、合計271

名を数える。ご存じのように、引き続きJASRIの研究者・技師の募集がおこなわれているので、JASRIの割合が増加することとなる。

共同チームのリーダー・サブリーダー会議は「SPring-8合同会議」に改編され、JASRIのメンバーも含めて毎週一回開かれている。また、各グループの情報を全体的に理解するために「業務連絡会」ももたれている。

## 2. SPring-8 計画の進捗状況

入射器から蓄積リングにかけて磁石の据え付けが行われてきたが、9月末までに蓄積リングの収納部に磁石の設置が終了した。アラインメントと真空の組み込みの段階に入る。

共同利用ビームラインの建設に関しては、発注作業が進展している。昨年度発注された挿入光源と基幹チャンネルの先行機の播磨サイトへの納入も行われている。

今年度の補正予算によって以下の計画が推進されることとなった。

### ・ 研究交流施設

今年度内に建設される。さらに、3棟が9年度までに整備されることとなった。

### ・ 組立調整実験棟

マシン実験棟はすでに建設の段階にあるが、引き続き挿入光源などマシン建設および精密な機器の組立のための実験棟が建設される。

### ・ 医学利用施設

イメージングを中心とした医学分野での研究開発を推進するための実験棟および研究棟の建設が認められた。

## 3. 委員会活動

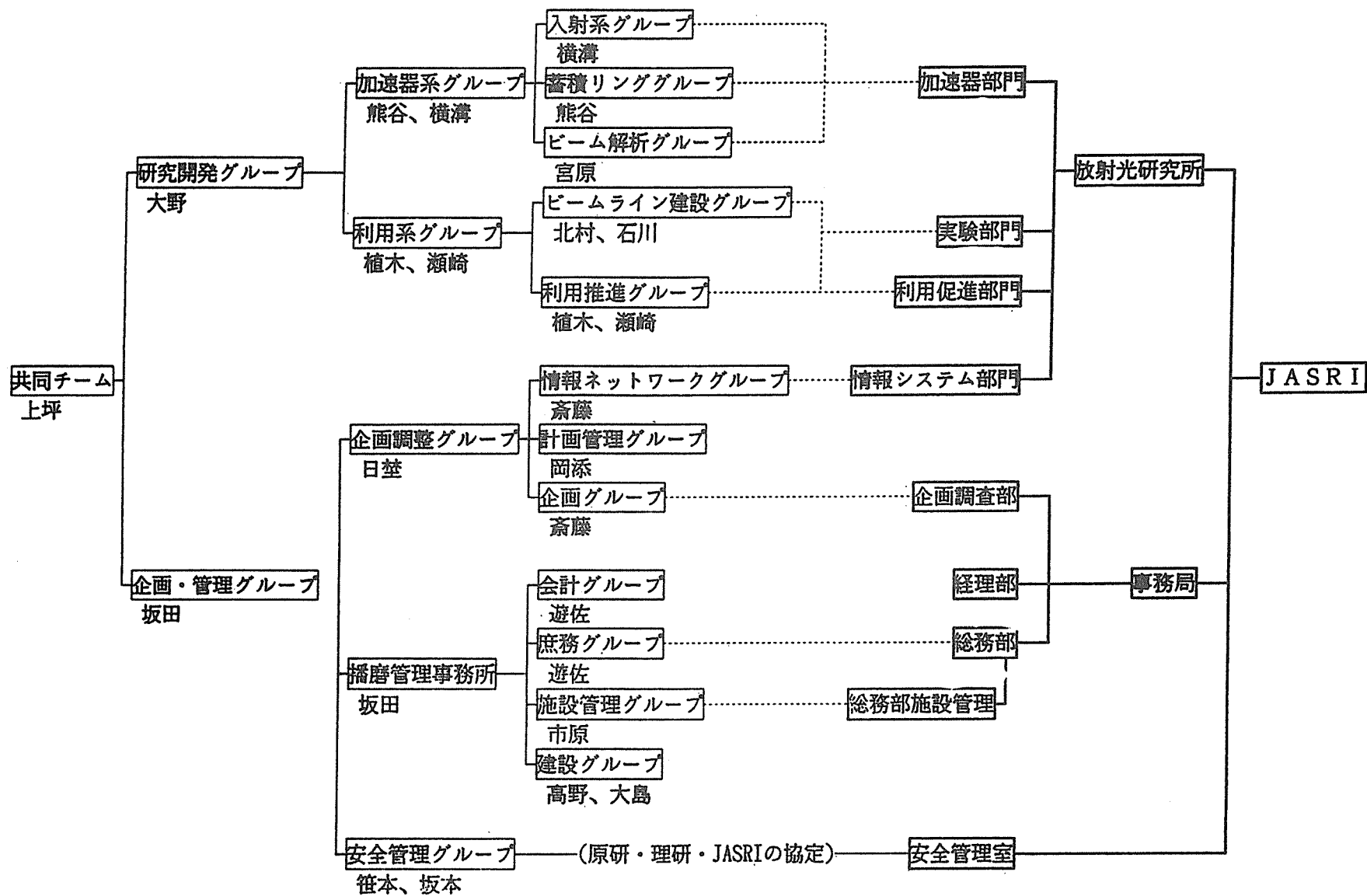
共同チーム側での外部委員を含めた活動は今回はおこなわれていない。JASRIでは諮問委員会、研究課題選定委員会、専用施設検討委員会および技術支援方策検討委員会の活動が活発であるようである。

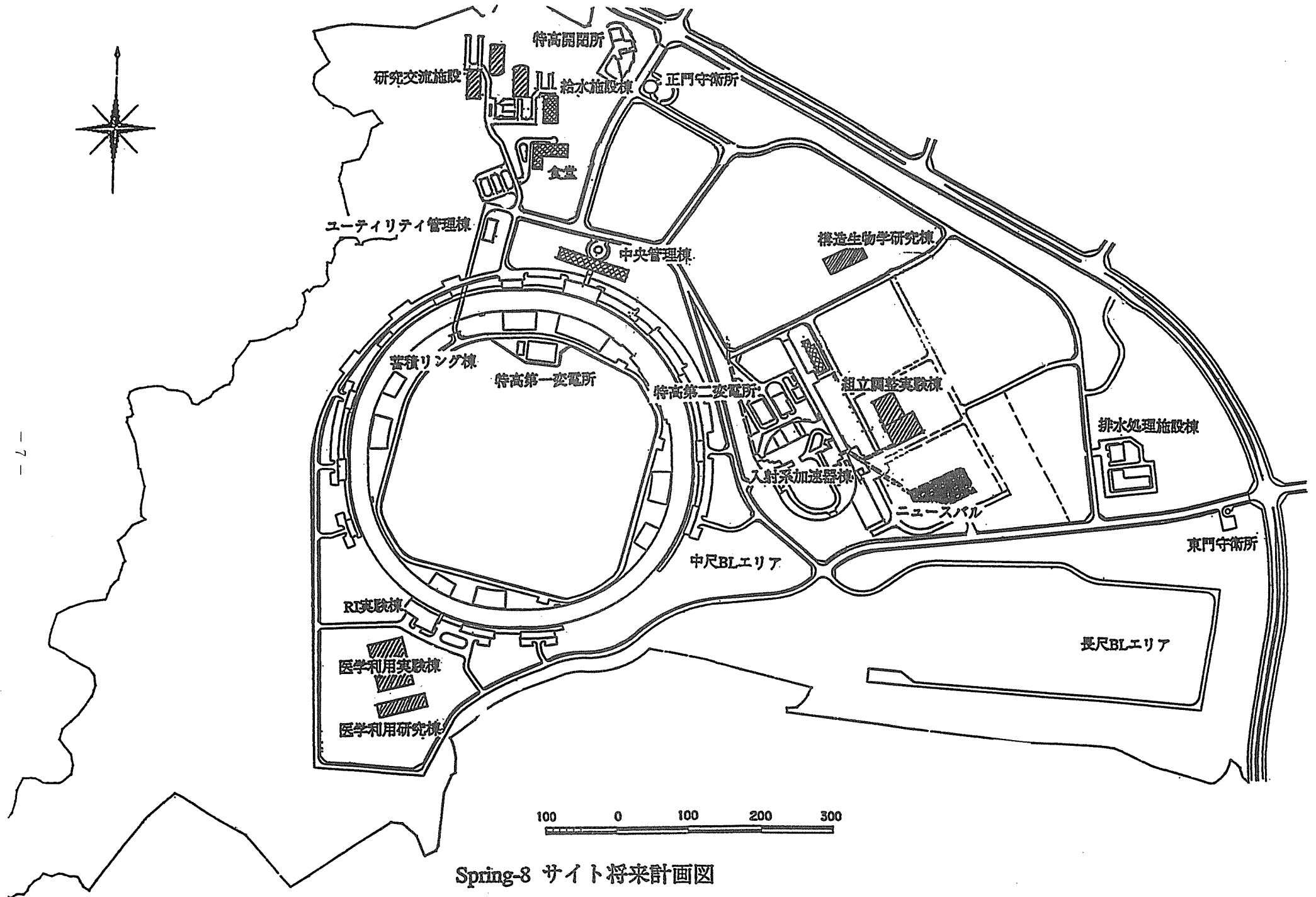
## 4. シンポジウムなど

1996年4月15-16日にSPring-8、APS、ESRFの三極ワークショップが播磨で行われる。引き続き、17-19日の間にSPring-8蓄積リングの長直線部の建設、利用などに係わる国際ワークショップが計画されている。開催場所は決定していないが、姫路で行われることとなろう。

付記：日本原子力研究所は10月1日から関西研究所を発足させ、関西研究所の中に大型放射光開発利用研究部が置かれている。また、理化学研究所の大型放射光施設計画推進本部の組織も改訂された。

# SPring-8新体制 (概要)





Spring-8 サイト将来計画図